

(元)ヤンキー先生の講演に350名が来聴



去る7月23日、東日本大震災により延期となっていた第3回福祉講演会を開催しました。

講師にお迎えしたのは杏林大学医学部附属病院脳神経外科の医師である平岩直也氏。中学・高校はヤンキー生活。そこから将来に不安を感じ医師を目指したという経歴の持ち主で、『知っておきたい脳卒中～「早く」と「速く」で助かる命・変わる人生～』と題された講演では、「脳卒中というのは一度発症すると元に戻らない。どんなに回復しても99%止まりで後遺症が残ってしまう怖い病気なので、脳ドッグや生活習慣の見直し（食事、運動、睡眠、喫煙、アルコール）等、普段の生活の中で予防を心がけることが大切。人間は神にはなれないが、自分は患者に出来る限りのことをしてあげたいと思っている。」と熱いメッセージをいただきました。



社会福祉法人さくら市社会福祉協議会

●さくら市喜連川904番地（さくら市喜連川社会福祉センター内）
●TEL 028-686-2670 ●FAX 028-686-2423 ●E-mail : honbu@sakura-shakyo.or.jp

氏家支部

●さくら市櫻野1329番地（さくら市氏家福祉センター内）
●TEL 028-682-2217 ●FAX 028-682-9888 ●E-mail : shibu@sakura-shakyo.or.jp
●<http://www.sakura-shakyo.or.jp/>

ひとときの涼を提供 ～アイスコーヒー&かき氷提供～

当協議会では5月13日から埼玉県加須市旧県立騎西高校へ避難している福島県双葉町民の皆さんへ挽きたてコーヒーの提供を不定期に行っています。7月からはアイスコーヒーにかき氷を加え、提供場所も宮城県石巻市渡波駅ロータリーや女川町避難所となっている女川体育館と提供先を広げ、災害登録ボランティア・さくら清修高校の生徒その他多くの方々にご協力をいただきながら継続して提供しているところです。この提供は来年3月まで行う予定です。コーヒー豆（※種類を問わず）を提供していただける方は当協議会にて受入れしておりますのでご協力お願いいたします。



提供活動にご協力いただいた皆さん

No	便	月	日	内 容	提供場所	提 供 数	
						コーヒー	かき氷
①	6	7	18	アイスコーヒー・かき氷提供	加須市旧騎西高校	450	350
②	7		26	アイスコーヒー・かき氷提供	石巻市渡波駅	150	350
③	8		28	アイスコーヒー・かき氷提供	加須市旧騎西高校	250	350
④	9	8	5	アイスコーヒー・かき氷提供	石巻市渡波駅	110	250
⑤	10		12	アイスコーヒー・かき氷提供	加須市旧騎西高校	250	400
⑥	11		18	アイスコーヒー・かき氷提供 石巻市ボランティアセンター視察	石巻市渡波駅	75	200
⑦	12		23	アイスコーヒー・かき氷提供	加須市旧騎西高校	220	230
⑧	13		25	アイスコーヒー・かき氷提供	石巻市渡波駅	112	137
⑨	14	9	6	アイスコーヒー・かき氷提供 軍手・お茶・トイレットペーパー提供	石巻市渡波駅 女川町役場	110	100
⑩	15		7	アイスコーヒー・かき氷提供	加須市旧騎西高校	212	239
⑪	16		13	アイスコーヒー・かき氷提供	加須市旧騎西高校	200	262
⑫	17		15	アイスコーヒー・かき氷提供	女川町体育館	150	270

ボランティア活動中間報告会

7月31日(日)、喜連川公民館にて東日本大震災ボランティア活動中間報告会を開催しました。

報告会では、震災発生から延べ1か月間ボランティア活動をされてきた瀧澤優さん(右写真)より、福島・宮城・岩手3県の被災地・避難所をまわり、活動・体験されてきたことを報告していただき、「現地で活動するだけがボランティアではない。義援金や買い物等、自分が住んでいる場所からできるボランティアのあり方もある。」と話されていました。

その後、当協議会職員より、ボランティアセンター立ち上げの経緯から震災が発生してから報告会までの取り組み、今後の活動について報告がありました。



石巻市社会福祉協議会 高橋興治会長より お礼状をいただきました

当協議会では、石巻市へ4月5日・12日・25日の3回に渡り物資の搬送を行いました。(社協だより第18号にて掲載)これを受け、石巻市社会福祉協議会長(写真)より右の御礼状をいただきました。



御 礼 状

拝啓、盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、当地を襲った東日本大震災におきましては、早々にご厚情あふれるご支援とお励ましを賜り、心より厚く御礼申し上げます。

3月11日の巨大地震そして大津波は、多くの犠牲者を生み、また家庭の倒壊・流失など甚大な被害をもたらし、一瞬にして市民の生活を壊してしまいました。

このような中、石巻市災害ボランティアセンターの運営につきましては、皆様方からの温かいご支援に大変力づけられ、日々活動を続けております。

これからも、私ども石巻市社会福祉協議会役員一同、石巻市当局と共に、一日も早い復興に向けて取り組んで参る所存でございますので、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年になりますが、皆様の益々のご健康とご繁栄をご祈念申し上げ、鳴謝ながら書中をもちまして御礼とさせていただきます。

敬具

平成23年7月吉日

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会
会 長 高 橋 興 治

高橋会長からのお礼状

震災関連の義援金・物資の報告(7月1日~9月16日までに届いたものです)

義 援 金

(敬称略)

155,264円(1件) ギャラリー一隅	10,000円(2件) 芳村香 人見照雄
80,000円(1件) 平岩直也	6,500円(1件) さくら地区交通安全協会 フィオーレ支部交通安全教室
36,245円(1件) さくら市氏家地区農産物直売組合	5,000円(1件) 見目正樹
24,440円(1件) 中山金属化工	

ご報告

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。
お預かりした義援金については、8月15日に256,764円、8月31日に60,685円を県共同募金会へ送金いたしました。

物 資

(敬称略)

小口貞英(宇都宮市)……………おもちゃ
郭 裕之・香苗……………コーヒー豆
さくら市きつれ川少女合唱団
代表 國井 淑子
白半そでTシャツ 18枚
桑野幸一……………コーヒー豆
匿名……………コーヒー豆

お知らせ

社協にお寄せいただいたコーヒー豆は、埼玉県加須市に避難している双葉町や石巻市の皆さんに挽きたてのコーヒーとして提供いたしました。コーヒー豆の受付は継続して行いますのでご協力お願いいたします。

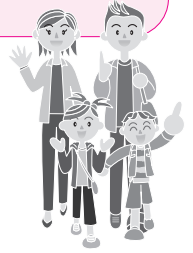
ギャラリー一隅にてチャリティーイベント1周年祭り開催

8月7日(日)、東日本大震災のチャリティーイベント「ギャラリー一隅」1周年祭りが開催。当協議会も参加させていただき、挽きたてのコーヒーや綿あめを来場者の皆さんに味わっていただきました。イベントは、ギャラリー一隅のオーナーであり、画家としても活躍されている田中耕一さん(右写真)の自宅敷地内で開催され、ブルーベリーの摘み取り、そば・うどん、かき氷や鮎の塩焼き等が無料で提供され、多くの来場者で賑わっていました。又、ブルーベリー摘み取り募金及び寄付金155,264円は田中さんの意向により当協議会でお預かりし、8月15日に被災地支援募金として県共同募金会へ送金させていただきました。



第6回さくら市福祉まつりを開催します

～広げよう 来て・見て・聞いて 福祉の輪～ 『元気パワー、みんなに届け、福祉の輪』



- 日 時 平成23年10月8日(土) 午前10時～午後2時
- 場 所 氏家体育館・体育館駐車場内

今年もさくら市福祉まつりを開催します。今年度の売上金はすべて被災地義援金として送金する予定です。**目指せ100万円！！**

体育館アリーナ内では、施設紹介や、相談・福祉体験、幼稚園・保育園・小中学校・高等学校の生徒の皆さんの作品展・震災に関連するコーナーを用意し、格技場においては福祉バザーを行います。屋外においても、施設紹介、福祉体験、抽選会、模擬店等行います。ぜひご来場ください。

福祉施設紹介

さくら市内の福祉施設が一堂に会します。それぞれ施設のブースにおいて施設紹介やサービス内容等の様々な情報をご覧になれます。相談・質問等お気軽にお尋ねください。



福祉体験

点字、手話、音声訳、AED、車椅子や盲導犬等福祉に関する体験ができます。いつ・どこでその体験が生かされる時が来るか分かりません。まずは体験してみてください。



作品展

市内幼稚園・保育園、小中高生による絵画・書道作品を展示します。どの作品も大人顔負けの力作ぞろいです。ぜひ鑑賞ください。



震災関連コーナー

アリーナ内において被災地復興支援として被災地物産品を販売しますのでぜひお立ち寄りください。又、同ブースにおいてさくら市社会福祉協議会の災害支援活動報告も行います。



抽選会・福祉バザー

毎回、大変好評な抽選会・福祉バザーです。あっという間に景品・品物がなくなってしまうので皆さんお早めに。1等 折りたたみ自転車 2本



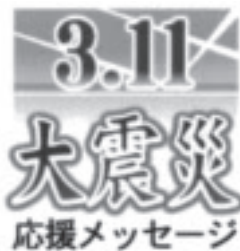
模擬店

お餅・綿あめ・焼きそば・フランクフルト・風船つり・金魚すくい等の模擬店が出店されます。(10時30分閉店です。)



被災地復興支援ブース

石巻市物産・工芸品(雄勝硯・雄勝硯箸置き・とろろ昆布・石巻市災害ボランティアTシャツ・他)を販売します。



さくら市から 元気メッセージを届けよう!

今年度は被災されている方・被災地に向けて応援メッセージをふれあいの木いっぱいに書きたいと思います。来場された方はぜひメッセージをお願いします。

●福祉まつり日程

※事業の実施状況により時間が前後する場合がございます。

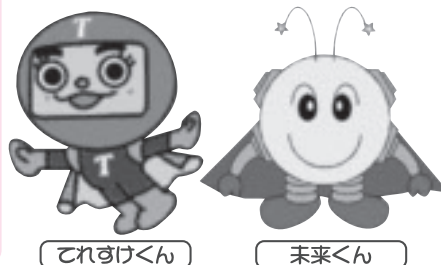
氏家体育館内	特設ステージ	10:00~10:20	福祉まつり開会式
		11:00~12:00	ゆるキャラサミットinさくら2011 <ul style="list-style-type: none"> ゆるキャラ紹介 ゆるキャラとのふれあい ご当地品・ゆるキャラグッズ販売
	アリーナ内	10:00~14:00	<ul style="list-style-type: none"> *市内の幼稚園、保育園、小・中・高校生による作品展示 *福祉施設紹介、AED体験、点字・手話・音声訳体験 ふれあいの木、盲導犬体験など *震災関連コーナー
	格技場	10:30~13:00	福祉バザー
駐車場内	屋内	10:00~14:00	福祉施設紹介、車イス体験、抽選会、模擬店(10:30~販売)
	屋外	10:30~ ※景品が無くなり次第、終了	抽選会

ゆるキャラサミットinさくら2011

今年も福祉まつりと並行して「ゆるキャラサミットinさくら2011」を開催します。

県内外から15体のゆるキャラが登場し、ゆるキャラの紹介から、来場者とのふれあい・写真撮影、ご当地品・グッズの販売を行い、会場を盛り上げてくれます。1体1体のゆるキャラがそれぞれもっている個性や魅力を感じて下さい。

皆さんは何体知っていますか?



これすけくん

未来くん



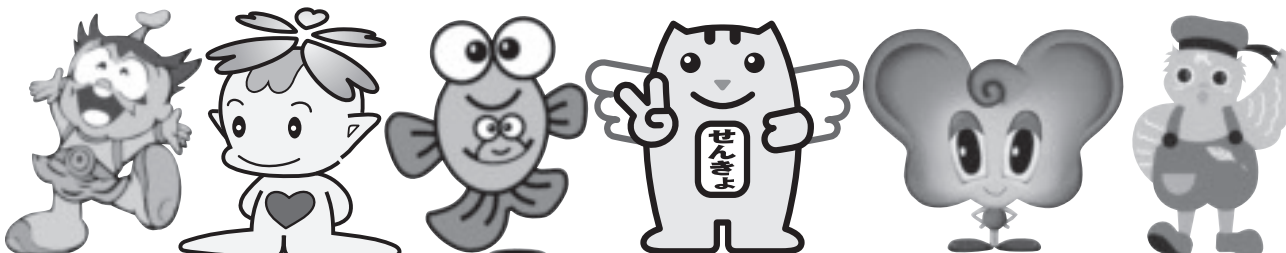
タンタン&モモタン

た〜てん

はぎまる

人KENきもちる君・人KENあゆみちゃん

かんびょうまっきーちゃん



王雷ちゃん

さくらっぴー

なかっぴー&こなっぴー

めいすいくん

パピット

ポッポちゃん

「ちょっとボラ」にご協力ありがとうございます

平成23年9月16日までにご協力いただいたものです。

ペットボトルキャップ

(敬称略)

桃谷誠至、三菱ふそう労働組合、喜連川小学校、後藤久美、喜連川児童センター、上松山児童センター、杉田亮夫、山崎カツ子、白井新、溝上吉博、龍光寺、佐藤自動車、小島光子、森村節子、上野江里子、飯田ひろ子、安済仁、上松山小学校、土田光子、櫻井新聞店・朝日市民ニュース読者有志、阿見百合子、辻村ヨシ、和氣正男、佐川規子、柿木澤行政区、藤田圭子、氏家地区農産物直販組合菜っ葉館、小口サクノ、村上貞子、黒須病院、正親久美子、生涯学習課、メグミコーポレーション、田口陽子、岩崎靖子、高齋理子、吉成俊亮、赤羽富子、中田けい子、よさこい「愛舞美」一同、鈴木ヤイ、安達祥子、ゲートボール協会、吉沢誠二、高瀬久子、遊座広美、加藤啓三、匿名

ブルタブ

山崎カツ子、秋保早苗、佐藤自動車、森村節子、上保正志、小松かの子、藤田圭子、小口サクノ、高齋典子、よさこい「愛舞美」一同、ゲートボール協会、吉沢誠二、平石忠、匿名

古切手

上野江里子、鈴木養蜂園、上松山小学校、よさこい「愛舞美」一同、匿名

ベルマーク

上野江里子、櫻井新聞店・朝日市民ニュース読者有志

第2回 とちの葉「コミのつどいinさくら」を開催します

興味のある方はぜひ参加してください。

- 日時 平成23年10月30日(日) 10時30分～15時
- 場所 喜連川社会福祉センター
- 主催 中途失聴・難聴者の会「とちの葉」



局長の ひとりごと



「絆」バスは東へ北へ南へ

去る3月11日の東日本大震災の発生後、災害支援ボランティアの登録者は230名を超える人数となった。あれから半年が過ぎた現在、主に被災地において、被災者に憩いを与える活動をボランティアと共に展開中。

一方、地元さくら市内での活動内容については、要援護者の瓦礫の撤去や部屋内の清掃、要援護者宅への給水、支援物資の整理等だったため、実際にはボランティアの要請は少なかった。そのため、他の登録者から「登録したのに何も支援活動はないのか、社協は何をやったんだ」との

声が上がっていたのも確かであった。

そんな中、社協所有の「絆」バス(と、名付けました)は、栃木県内でいち早く茨城県高萩市へ支援物資を届けた。その後、宮城県石巻市へ3回ほど支援物資を提供。現在は、ボランティアの皆さんとともに、「挽きたてのコーヒー&かき氷」の提供を埼玉県加須市(福島県双葉町避難者)、宮城県石巻市・女川町で実施している。特に加須市と石巻市では、回数を重ねていることから、地元にも随分と知られてきて、大変喜ばれている。今年度、残り6か月の目標回数は15回(合計30回)。今も、「絆」バスは東へ北へ南へと高速道路をひた走り続けている。この「絆」バス、とっても可愛いマイクロバスで、見かけたときには、ぜひ、手を振って応援していただきたい。

最後に、私どものこの支援活動は規模的には小さいが、市民の大きな力添えにより進められている事業であり、さくら清修高校の生徒をはじめ、ボランティアとして登録している民生児童委員・市民など、関わってくれている多くの関係者には、本当に感謝・感謝でいっぱいである。これからも「挽きたてのコーヒー」を主としての被災者支援を実施していくので引き続きの協力をお願いしたいことに加え、これを読んでくれた皆さん、「絆」バスでぜひ、一緒にボランティア活動を…!!

